

# 贈呈のメモ帳ケース 備後撚糸開発 生地を採用

## G8下院議長会議

広島市で9月2日に開かれるG8下院議長会議（議長サミット）に出席する各国議長

へ、河野洋平議長から贈られる特製メモ帳のケースに、福山市芦田町の備後撚糸が開発した和紙の糸で織った生地が採用された。

ケースはB5判サイズで、和紙糸製の帆布張り。生成りで素材の風合いを生かした表面には、金色のサミットロゴマークが押されている。

製作したのはパツケージメーカーの鯨岡

（東京都足立区）。鯨岡亘社長（59）は元衆院副議長の鯨岡兵輔氏の長男。鯨岡元副議長が長年、国際軍縮促進議員連盟会長を務めていたことから、河野議長が製作を依頼した。

鯨岡社長は「和紙糸の生地はサミット開催地の広島産。努力を重ねて独自商品を開発した備後撚糸に、原爆から立ち直ったヒロシマの活力を見た」と話す。ケースや原爆ドームをイメージしたパツケージなど、デザインは夫人でデザイン室長の揺さんが担当した。

備後撚糸の光成明浩部長（35）は「世界平和を願う国際会議に、広島県人として参画できたことは名誉なこと。使われる度にヒロシマを思い出していただければ」と話している。

サミットで贈られるメモケース

